

平成 29 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	「活かせる学力」の 育成	基礎基本を主体とした、 上級学校や社会生活で「活 かせる学力」の育成に向け た授業の展開と教育課程の 見直しを図る。	共通テーマとICT機 器利活用による授業研究 会の実施と各教科会によ る取組みの発表とまとめ を行う。	「生徒による授業評価」や 「魅力と特色ある県立高校 づくりアンケート」等の回 答で「かなり当てはまる」 や「とても満足している」 の回答率が上昇したか。
2	生徒指導・支援	部活動の活性化 人間性・社会性豊 かな人づくり	部活動の問題点・課題点 を把握し、解決と加入率ア ップに向けた方策の検討を 行う。 規範意識の醸成といのち や他者とのかかわりを大切 にする心の育成を図る。	年間複数回の部活動加 入キャンペーンの実施。 全ての教育活動におい て時間厳守を励行し遅 刻指導を徹底する。生 徒の実態に応じてコミ ュニケーション能力向 上等に向けた各種教 室・講演会を開催す る。	学校全体で加入率増加の 為の意見交換ができたか。 部活加入率が65%となっ たか。 遅刻者年間延べ人数が 10,000名以下(昨年度 12,683名の2割超削減) になったか。生徒の実態に 応じた各種教室・講演会を 開催できたか。
3	進路指導・支援	進路発見と 進路実現	より適切な第一志望の選 択能力を育成する。 インターンシップへの積 極的参加を促し、広い視点 から進路を発見できるよう 内容の充実を図る。	実力診断テスト等によ り職員、生徒それぞれの 成績分析会を実施する。 総合的な学習の時間等 で職業理解・勤労観を養 い、インターンシップを 積極活用するよう取り組 む。	指定校やAO入試の応募 状況と進学先の分析を行っ たか。 昨年度に比べてインター ンシップ参加者が10名以上 増えたか。
4	地域等との協働	地域教育力の活用	地域の中学校や大学と協 働し、3年間の枠組みを超 えた視点で教育活動を捉え る機会を作る。 社会の一員として意識で きやすいよう、防災活動など の地域連携の行事に参加 する。	近隣中学校と、授業及 び学校行事の相互見学を 行い、意見交換をする。 地域との防災活動に参 加できるように生徒の意 識を高めるような取り組 みを行う。	多数の職員が、校内及び 近隣中学校との相互見学や 意見交換の機会を複数回活 用したか。 防災活動などの地域連携 の行事に参加できたか、地 域と協働した行事ができた か。
5	学校管理 学校運営	教育環境の整備 事故・不祥事ゼロ の取組	創立40周年行事として教 育環境等を整える。安全衛 生に配慮した整備を行う。 職員一人ひとりが、事 故・不祥事防止を自らの問 題として認識し、事故・不 祥事の未然防止に取り組 む。	学習や部活動に支障が 出ないように環境整備に 努める。トイレ衛生や体 育館の安全面を改善・改 修する。 グループ主催で、事 故・不祥事防止研修会を 開催する。正確な点検作 業を行う。	クラス増に伴う普通教室 の設備を整えることがで きたか。施設の改善・改修 が進んだか。 各グループごとに、事 故・不祥事防止研修会を開 催できたか。正確な点検作 業を行えたか。